

AI導入のポイントと基本プロセス

～ 人材・組織面から見るAI導入の最低必要条件とは ～

日時 2020年2月20日(木) 10:00～16:00 (5H)

会場 東京・代々木・本会内セミナー室 (右図参照)
東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8 TEL(03)3403-1972(直)

講師 プリンシプルコンサルティングBCP研究所 林田 ともゆき 氏
所長

対象 経営企画部門、情報システム部門、総務部門、人事部門、
監査部門、経営層 (CEO/CIO/CTO/CAO) 等



主催 一般社団法人 日本経営協会

開催にあたって

人口知能 (AI) がパスワードでなくなった今、機械学習やディープラーニングは実験的な要素の大きいシステム技術ではなく、すでに評価を得た実務のためのシステム技術へとステージを移しています。一方日本企業は、世界の先進国に比して、AIやデータサイエンスへの取り組みが非常に鈍いと言われてます。特に先進大企業のこれらの取り組みの実態がパールに覆われていることが多く、重要性を認識している企業と、そうではない企業が二極化している現状です。

本セミナーでは、AI導入について、どこから手を付けたらよいのか、どのようなプロセスを経るのか、業者選定はどう考えるのか、ユーザとして、プロジェクトにデータサイエンティストは必要なのか、どのようなスキルを持っているべきなのかという現場レベルの課題ばかりでなく、リスク管理や戦略性、経営的視点を交えて、演習を通じてAIの導入の考え方から運用までを学んで頂きます。

■申込・支払方法

参加申込書に必要事項をご記入のうえ、郵送又はFAXにてお申込みください。追って、振込口座名を記載した請求書と参加券をご派遣責任者(連絡担当者)までお送りします。不着の場合は必ず電話にて確認ください。参加料のお振込みは原則として請求書に記載されましたお支払期限までをお願いします。

- 振り込み手数料は貴社(団体)にてご負担ください。また、領収書は「振込金受領書」をもってかえさせていただきますのでご了承ください。
- 万一ご都合が悪くなった場合は代理の方がご出席ください。
- 教材は原則として当日会場にてお渡しします。
- 参加者が少数の場合、天災の場合などにおいては中止・延期させて頂く場合があります。すでにお振込の場合は、全額返金させていただきます。
- 録音録画、撮影等は原則として出来ません。ご了承ください。(特記の場合を除く)

■早割・複製について [最大4,400円(税込)割引] <教材費を含みます>

- ・早割(早期申込割引) お申込みされた講座のうち、開催日がお申込み日より2ヵ月以上先の講座について参加料を1講座1名あたり2,200円(税込)割引させていただきます。
- ・複製(複数申込割引) 複数名のお申込みで、参加料を1名あたり2,200円(税込)割引いたします。(ただし、同時にお申込みの場合に限ります)

■キャンセルについて

開催日の3営業日前からは30%、開催当日は100%をキャンセル料として申し受けます。なお、当日までに連絡が無く欠席の場合は、100%のキャンセル料となりますので、あらかじめご了承ください。

■参加料(テキスト・資料代含)

	参加料	消費税	合計
NOMA会員(1名)	30,000円	3,000円	33,000円
一般(1名)	37,000円	3,700円	40,700円

■会員入会手続きについて

入会の詳細および特典については、ホームページの「会員検索/ご入会のご案内」をご参照ください。

■WEBお申込みの流れ

- 1 一般社団法人日本経営協会 ホームページ <http://www.noma.or.jp>
- 2 「セミナー/講座」を選択
- 3 「セミナーを探す」よりカテゴリーを選択
- 4 ご希望セミナーを検索。ご希望のセミナー名をクリック。
- 5 ご希望セミナー詳細の最後の「WEB申込」からお申込み
- 6 お申込みをいただきますと、確認メールが届きます。

お申込み・
お問合せ先

一般社団法人 日本経営協会
企画研修グループ ●担当: 緒方

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-11-8
TEL (03) 3403-1972 (直) FAX (03) 3403-8417
E-mail: tms@noma.or.jp URL <http://www.noma.or.jp>

一般社団法人 日本経営協会 企画研修グループ 宛
FAX (03) 3403-8417

事務局長 使用欄 No. 年 月 日

参加申込書		AI導入のポイントと基本プロセス		14309	2020.2/20 10:00開講 NOMA
企業(団体)名	フリガナ	TEL		<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 一般	(該当にレ印をつけて下さい)
所在地	〒	FAX		業種	
				従業員数	名
参加者氏名		所属・役職		早・複製	メールアドレス
フリガナ				早・複	e-mail:
フリガナ				早・複	e-mail:
フリガナ				早・複	e-mail:
派遣責任者	フリガナ	所属・役職		メールアドレス	e-mail:

参加申込書にご記入いただいた情報は、以下の目的に使用させていただきます。
①参加券や請求書の発送などの事務処理 ②総務関連セミナーなど本会セミナー(事業)のご案内 ※なお、②がご不要の場合は□にチェックしてください。—□不要
※今後eメールによるご案内も予定しています。ご希望の方は、ご記入ください。

1. AI (人工知能) とは

- 1.1 AIは今、何が出来るのか
- 1.2 IoT/ビッグデータ解析におけるAIの位置付け
- 1.3 機械学習とは
- 1.4 ディープラーニング (深層学習) とは
- 1.5 今後のAI市場の成長分野
- 1.6 企業の仕事は、AIに置き換えられていくのか
- 1.7 現行業務に導入できるAI技術とは

2. AIにおける「学習」と「精度」

- 2.1 AIができることは「分類」と「回帰」と...
- 2.2 AIの学習における教師有学習について
- 2.3 AIの精度と実効性評価の考え方

3. AI導入のための基本プロセス

- 3.1 AI導入の "動機" とは何か
- 3.2 AIが求められる背景、世界と日本
- 3.3 その業務AIにすべきなのか? のチェックポイント
- 3.4 AIを導入する前に必要な五大要素
- 3.5 AIが適用できる業務課題例
- 3.6 AI導入プロセスにおけるトップダウンとボトムアップ

4. AIを導入するための人材と資質

- 4.1 AIプロジェクトに必要なユーザの人材と資質
- 4.2 データサイエンティストに必要な資質とは
- 4.3 データサイエンティストを育成すること
- 4.4 データサイエンス業務の委託
- 4.5 市民データサイエンティストとその役割

5. AI導入のための事業者選択

- 5.1 ケースで見るAI事業者選択のポイント
- 5.2 実利的なAIシステムを志向するケース
- 5.3 実験的なAIプロジェクトを志向するケース
- 5.4 複合的な周辺機器との組み合わせによるシステム
- 5.5 AI事業者の傾向、大手とベンチャーの違い

【演習1】 AIプロジェクトの戦略検討
(プロジェクトデザインレビュー)

旧セミナー名：人工知能 (AI) ・機械学習、ディープラーニングの実態と導入のポイント

6. AIシステムの構築プロセス

- 6.1 プロジェクト構築時に求められるユーザ側体制
- 6.2 技術系担当役員の必要性
- 6.3 プロジェクトリーダーの資質
- 6.4 ITプロジェクトとAIプロジェクトの違い
- 6.5 ユーザの実態に即した業者選定
- 6.6 業者比較 (例)
- 6.7 AI導入と撤退の判断
- 6.8 AIプロジェクトのマイルストーン (機械/深層学習)

7. AIシステムに関する課題

- 7.1 AIシステムのセキュリティ問題
- 7.2 AIシステムの倫理性とコンプライアンス問題
- 7.3 AIシステムの精度問題

8. AIシステムの運用

- 8.1 AIシステム運用の作業と役割
- 8.2 ITシステム運用との違い

【演習2】 AIプロジェクト・スケジュール策定
(プロジェクトデザインレビュー)

9. AIリスクマネジメントと経営的視点

- 9.1 リスクマネジメントにおけるAIの位置付け
- 9.2 AIが (今後) 企業の業務体系に与える影響とは
- 9.3 AIに関する内部統制 (リスク) とは
- 9.4 AIの「導入リスク」と「戦略リスク」を考える
- 9.5 AIが専門職の仕事を奪うという仮説
- 9.6 ホワイトカラーの危機
- 9.7 AIリスク分析と危機管理対応
- 9.8 AI内部監査と監査内容
- 9.9 AIとGAFA等によるデータ寡占問題を考える
- 9.10 経営者のAIに対する「勉強」

左記プログラムは都合により変更になる場合があります。あらかじめご了承ください。

※出張研修も承っております。表面のお申込先までお問い合わせ下さい。

講師プロフィール

プリンシプルコンサルティングBCP研究所 所長 **林田 朋之** (はやした ともゆき) 氏

北海道大学大学院修了後、富士通株式会社入社、その後米シスコシステムズ入社。独立コンサルタントとして、大企業、中堅企業のIT、情報セキュリティ、危機管理、震災および新型インフルエンザのBCP、クラウド・リスクマネジメントなどのコンサルティング業務を実施。現在、企業の危機管理、BCP、情報セキュリティ、ITインフラシステムなどコンサルティング業務を遂行。